

令和7年度

川崎市立枳形中学校

教育課程説明会  
2年



日時：令和7年4月12日（土）13:05~13:30

場所：体育館

1. 学校長挨拶
2. 令和7年度の教育課程と評価について
3. 質疑

## 枳形中の学びについて

### ○「気づき・考え・行動できる」生徒の育成

枳形中学校では創立当初より JRC に加盟し、その活動目標である「気づき・考え・行動する」を合い言葉にしてきました。そして、21 世紀の今こそ、この言葉の目指すところが求められていると考え、学校生活のあらゆる場面で「気づき・考え・行動する」を意識した学びを実現しようと努めています。さまざまな活動場面では、教員の指示で早く進めるよりも生徒自らの気づきや声かけによって行動を起こす機会を大切に、教科学習でも単なる知識の詰め込みではなく、自ら気づき・考え・判断して行動できる力を育てる学習をめざしています。また、昨年度の校内研修から、今年度は「一人ひとりが輝き自信を持って思いを伝える指導の工夫」をサブテーマに掲げ、始業式や入学式でも大津校長から「気づく力をつける」「失敗を恐れない」というポイントを生徒全体に伝え、教職員もその認識を共有し、生徒たちの自己肯定感を高める指導を目指しています。

### ○「エネルギー環境学習」をはじめとする総合的な学習 ～ SDGs を意識して…

「エネルギー環境」の学習として、大企業から NPO 法人まで 12 ほどの企業による専門性の高いワークショップを毎年開催し、それを軸に環境や社会への見方・考え方を育てています。この取り組みは市内外からも高く評価されており、これまで環境大臣表彰を始めとする様々な賞を受賞し、昨年度も日本電気協会（電気新聞）主催の「第 14 回エネルギー教育賞」で中学校の部の最優秀賞を受賞しています。また、「福祉・ボランティア学習」では「一人ひとりのボランティア（ひとボラ）」を通して「誰かのために行動することの楽しさ」を生徒に実感してもらいたいと考えています。今年度はさらに、「キャリア在り方生き方教育」の視点や、SDGs の視点を深める教育活動として「見つけよう私の SDGs」をテーマにした学習活動を計画しています。また、このような取組が評価され、令和 3 年度に「かわさき SDGs パートナー」に認定されました。

### ○自習時間を最小化し、「授業」を大切に

単純に知識を伝達するというよりも、他者との関わりの中で様々な視点に気づいたり深く考えたりする授業の機会を大切にしています。そのためには一つひとつの授業時間が重要になるので、年間を通してほぼ自習時間を作らないように毎週授業調整を行い、毎週末発行の学年通信でお知らせしています。

### ○ちいさな気づきを生かす「きめ細かな情報共有と連携」

生徒一人ひとりが力を伸ばしていける環境作りや、学校内で生じる問題についての早期対応を徹底するために、学年会や主任会を週間の時間割に組み込んで頻繁に行っています。教員間で日々の情報を共有し、特別支援的な視点からの対応を検討することで、生徒がより良い学校生活を送れるよう努めています。生徒について教員が密に連携を取れるのは、比較的小規模な学校だからこそその「強み」とも言えます。

### ○OGIGA 端末を活用した学習

令和 2 年度より始まった GIGA スクール構想により、生徒一人ひとりに端末が配付されました。本校におきましても研修を進めながら、子供たちのために活用しているところです。現状においては、授業での調べ学習や発表等に使用しており、個別に学習を進められるツールとして活用しています。

# 令和7年度の教育課程

## 1. 時数（週あたり）

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	道徳	学活	総合	計
1年	4	3	4	3	1.3	1.3	3	2	4	1	1	1.4	29
2年	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	2	29
3年	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	2	29

## 2. 令和7年度の校内研究主題

### 『気づき、考え、行動する生徒の育成

～一人ひとりが輝き自信を持って思いを伝え合う指導の工夫～』

#### ◎令和7年度の校内研究主題

教科	教科主任	研究テーマ（教科目標）
国語	大塚 寛之	自分の課題の課題と向き合い【気づき】、考えを表現するために言語感覚を豊かにし、相手に伝える力を養う【考え・行動】
社会	岩渕 淳	気づき・考え・表現する力を育てる社会科学習指導の研究
数学	南 維儀	数学的な見方・考え方をはたらかせ、学び続ける力の育成
理科	杉浦 雅乃	自然の事物・現象について問題を解決する目的意識をもって科学的に問題を追究しながら【気づき】、獲得した知識・技能を問題解決のために活用できる生徒の育成【考え・行動】
音楽	鈴木 桃子	題材で育成を目指す資質・能力を明確にした、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
美術	加藤 正高	見る・考える・表現する力の育成 ～造形活動や鑑賞活動をきっかけに、他者や自己との対話を通して～
保健体育	小原 侑大	体育分野 運動の特性にふれさせながら基礎的な知識及び技能を習得させ、自己や仲間の課題に気づき、解決のために自ら考え行動できる生徒の育成 保健分野 見方・考え方を働かせ、自他の健康に関心を持ち、心身の健康を適切に管理し、自ら改善していく実践力の育成
技術・家庭	田中 伸英	気づき、考え、表現、行動する力の育成 ～見方・考え方をはたらかせた実践的・体験的な授業の実戦～
英語	福元 隆之	英語で伝える力を育む指導の工夫～インプットからアウトプットへ～

### 3. 基礎・基本の定着と発展・補充にも対応できる学力保障に向けて

#### ① 毎週の時間割調整によって授業時数を有効に活用

- ・学力保障の取組の一つとして、本校では自習時間をつくらないように毎週時間割を調整しています。急な予定変更があっても日常的に授業変更で対応するので、教科担任がつけないことによる自習の時間はほとんど発生しません。

#### ② 1年生英語で少人数制授業の実施。

- ・少人数は1クラスを出席番号で2つに分けて、半数ずつで授業を行う。学習内容(課題)やテスト前の復習、単元のまとめ等の授業では合同で授業を行う(T.T)こともある。

#### ③ 保健体育でTT(チームティーチング)の授業を実施

- ・1・2年生については2クラス同時展開で行う。クラス単位または男女別で授業展開し、3名の教員が指導する。
- ・3年生については2クラス合同で行う。種目別個人選択で授業展開し、2種目に分かれて種目によってTTにて指導する。

#### ④ 基礎学力の定着と生徒への手だて

- ・基礎学力の定着のため、「B」規準への到達のために個々の生徒への手だてを尽くす。
  - 学習相談や長期休業中等に補習や補充のための学習会を実施する。
  - 授業やテストのユニバーサルデザイン化を進める。テストはルビ付きに。
- ※他に、川崎市教育委員会「地域の寺子屋事業」の一環として、まなてら運営委員会が、本校(定期テスト前)、新川町会館(水・金曜日)、長尾こども文化センター(月曜日)を会場に学習支援を行っており、多くの本校生徒が参加しています。

#### ⑤ 支援教育の充実(支援教育コーディネーターを中心に主任会でも定期的に検討)

- ・通常の学級の中にいる支援が必要な生徒に対して「取り出し授業」「入り込み授業」を実施。
- ・学習面やコミュニケーションの課題など、様々な課題に対して随時相談を受け付けています。(まずは担任へご相談ください。)

### 4. 総合的な学習の時間

#### ①目標「気づき、考え、行動する」を主題として、【環境】・【福祉】・【キャリア、他】についての活動を通して、自己の在り方生き方を探究する学びを行い、課題解決の能力を養い「生きる力」を育み、以下の資質・能力を育成する。

**気づく** 探究的な学習の課程において、課題の発見に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、そこにある良さや工夫に気づき、課題解決への意欲を高める。

**考える** 探究的な学習を通じ、課題を解決するために広い視野を持って筋道を立て、考える力を身に付ける。

**行動する** 探究的な学習に主体的・協動的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。

② 「見つけよう私のSDG's ～気づき・考え・行動できる私を育てよう～」

○「環境」「福祉」「キャリア、他」等の学習を通して、SDGs（持続可能な開発目標）と自らの生活のつながりを意識し、大きな視点を持ちながら自己の課題を追及する力を育てる。

○ガイダンスでSDGsの存在を意識させ、それが自分の生活や具体的な行動目標とどうつながるのか、年間の学習を通して考えていく。→「Think Globally Act Locally」の実践へ

○学習を通して考えた自分の行動目標を（その行事のワークシートの記入欄などで）蓄積し、年間の振り返りに生かす。まとめでは、行動目標から「My SDGs」意識できるようにする。

③時間数：1年は50時間（週1時間+前後期15時間）、2・3年は70時間（週2時間）

全学年：金曜日の5校時を総合とし、さらに他の時間や他の曜日にまとめ取りする。

④総合的な学習の時間 3年間を見通した学習内容

	キャリア学習	福祉学習	環境学習	学年行事		
1年	21世紀に求められる力 4時間	ひとボラ(市制100周年)クラス①・ブロック① 2時間	柞形中の環境学習 1時間	My SDGs設定 1時間		
	金融・経済学習 2時間	共生教育 8時間	ワークショップガイ①・当日② 3時間	総合ガイダンス(4月) 1時間		
	進路学習 5時間		まとめ学習の準備 3時間	●修学旅行の発表会 2時間		
			フォーラム(まとめ学習)クラス①・ブロック① 2時間	自然教室(事前7事後3) 10時間		
				情報モラル 1時間		
	1年計 11時間	1年計 10時間	1年計 9時間	1年計 15時間	45時間	
2年	21世紀に求められる力 7時間	ひとボラ(市制100周年)クラス①・ブロック① 2時間	ワークショップガイ①・当日② 3時間	My SDGs設定 1時間		
	金融・経済学習 2時間	共生教育 8時間	まとめ学習の準備 3時間	総合ガイダンス(4月) 1時間		
	職業調べ③・進路学習⑥ 9時間	赤ちゃんふれあい体験② 2時間	フォーラム(まとめ学習)クラス①・ブロック① 2時間	●修学旅行の発表会 2時間		
				校外学習・職業体験6(事前3事後3) 12時間		
				修学旅行に向けて 4時間		
	2年計 18時間	2年計 12時間	2年計 8時間	2年計 20時間	58時間	
3年	21世紀に求められる力 4時間	ひとボラ(市制100周年)クラス①・ブロック① 2時間	ワークショップガイ①・当日② 3時間	My SDGs設定 1時間		
	金融・経済学習 2時間	共生教育 8時間	まとめ学習の準備 3時間	総合ガイダンス(4月) 1時間		
	進路学習 12時間	認知症サポーター(特別時間割) 1時間	フォーラム(まとめ学習)クラス①・ブロック① 2時間	●修学旅行の発表会 2時間		
		命の授業(特別時間割) 2時間		修学旅行(事前6事後4) 10時間		
				薬物乱用防止教室(特別時間割) 1時間		
	3年計 18時間	3年計 13時間	3年計 8時間	3年計 15時間	54時間	
	1～3年 キャリア教育計 47時間	1～3年 福祉学習計 35時間	1～3年 環境学習計 25時間	1～3年 学年行事計 50時間	157時間	

○「21世紀に求められる力」の学習では、エナジード社の教材を活用し、変化の激しい時代の中で、実際に自分から行動を起こせる力を養うことを目指す。

○学年行事等でも「気づき・考え・行動する」を切り口に、自己の在り方生き方を探究する学びとなるよう意識付けを行う。

○エネルギー環境学習の特徴

・4月のガイダンスで、総合的な学習の主題とともにエネルギー環境学習のテーマを提示し、1年間

をかけてこのテーマを追求していくことを説明。

・まとめは「わかったことをまとめる」だけでなく、環境学習のテーマについて自分自身や身近な人や次の新入生に、環境への行動を広げる提言を行う形とする。（伝える相手を想定し、テーマについての知識を伝えると共に、具体的な行動へ移すことを発信できるような形式にする。）

### ⑤目標達成のために

○総合的な学習の時間をはじめ、教科、特別活動などあらゆる場面で「気づき・考え・行動する」生徒を育てる機会になる。各担当教員が教科とのつながりを意識して教科横断的に指導する。

○指導者の意識と姿勢の共通理解…、生徒が「気づき、考え、行動する」ことを促すような指導をめざす。（教員の指示で速く進めるより、生徒が気づき、考えるチャンスを確認）

○行事などの目標に、「気づき、考え、行動する」の趣旨を生かす。気づき・考えた時に、どのような行動に結びつくのかを目指す生徒の具体的な姿を想定する。

○行事などの振り返りやワークシートに「気づき、考え、行動する」を意識できる質問を設ける。

○リーダーだけでなく、どの生徒にも「気づき、考え、行動する」場面があるよう配慮する。

○振り返り用紙の質問項目を共通化し行事や学習を通してどんなことを学び、どんな力が身についたのかを各自が言語化して記録・蓄積できるような振り返りシートにする。

○日常的に生徒の目に入る場所に総合的な学習の目標を掲示

○総合のファイルを活用し、成果を3年間蓄積して、自分の学びを振り返るようにする。

### ⑥評価 通知票の「総合的な学習の時間」の欄に所見を記入する。

※生徒は各学年で作成する振り返り用紙に取り組み状況、感想等を自己評価・まとめとして記入する。

## 5. 週時程・最終下校・日課時程について

年間予定は学校HPに最新のものを掲載しておりますので、そちらをご確認ください。

#### 【週時程】

	月	火	水	木	金
1	学活			道徳	
2					
3					
4					
5					総合
6		総合			

#### 【最終下校時刻】

4月1日	～	9月18日	18:00
9月19日	～	9月29日	17:45
9月30日	～	10月9日	17:30
10月10日	～	10月21日	17:15
10月22日	～	11月4日	17:00
11月5日	～	1月21日	16:45
1月22日	～	2月5日	17:00
2月6日	～	2月20日	17:15
2月21日	～	3月7日	17:30
3月8日	～	3月25日	17:45
3月26日	～	3月31日	18:00

令和7年度

## 日課時程表

川崎市立栢形中学校 R.6.4.3.現在

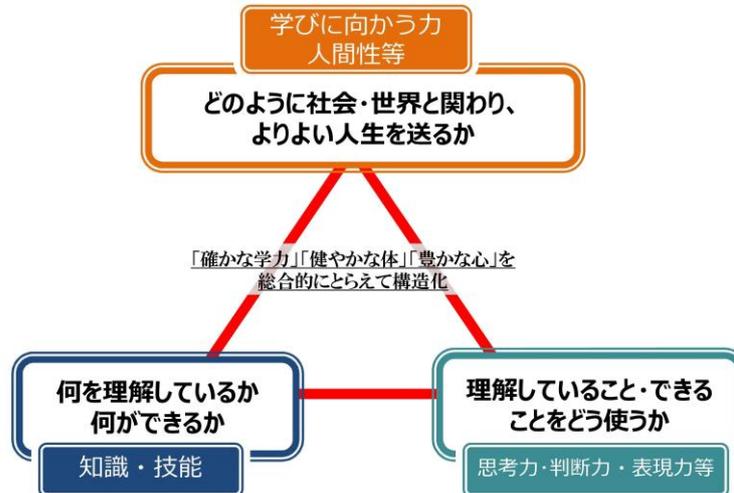
集会S時程		S時程		給食時程	平常時程		集会時程	
開始	終了	開始	終了		開始	終了	開始	終了
8:25 体育館に整列		8:25 教室で着席		生徒登校	8:25 教室で着席		8:25 体育館に整列	
集会	～ 8:45	8:25	～ 8:35	朝学活	8:25	～ 8:35	集会	～ 8:45
8:50	～ 9:35	8:40	～ 9:25	1校時	8:40	～ 9:30	8:50	～ 9:40
9:45	～ 10:30	9:35	～ 10:20	2校時	9:40	～ 10:30	9:50	～ 10:40
10:40	～ 11:25	10:30	～ 11:15	3校時	10:40	～ 11:30	10:50	～ 11:40
11:35	～ 12:20	11:25	～ 12:10	4校時	11:40	～ 12:30	11:50	～ 12:40
12:20	～ 13:00	12:10	～ 12:50	給食	12:30	～ 13:10	12:40	～ 13:20
13:00	～ 13:20	12:50	～ 13:10	昼休み	13:10	～ 13:30	13:20	～ 13:40
13:25	～ 14:10	13:15	～ 14:00	5校時	13:35	～ 14:25	13:45	～ 14:35
14:20	～ 15:05	14:10	～ 14:55	6校時	14:35	～ 15:25	14:45	～ 15:35
⑤14:15～14:25 ⑥15:10～15:20	⑤14:05～14:15 ⑥15:00～15:10	清掃なしで学活		⑤14:30～14:40 ⑥15:30～15:40	⑤14:40～14:50 ⑥15:40～15:50			
⑤14:15～14:30～14:40 ⑥15:10～15:25～15:35	⑤14:05～14:20～14:35 ⑥15:00～15:15～15:25	清掃&学活		⑤14:30～14:45～14:55 ⑥15:30～15:45～15:55	⑤14:40～14:55～15:05 ⑥15:40～15:55～16:05			
朝会あり45分授業	S時程=45分授業	⑤=5時間の日 ⑥=6時間の日	50分授業	集会あり50分 (1校時以後10分遅れ)				
<b>弁当持参日(昼食終了後20分繰り上がり)</b>								
12:25	～ 12:40	12:15	～ 12:30	昼食(弁当)	12:35	～ 12:50	12:45	～ 13:00
12:40	～ 13:00	12:30	～ 12:50	昼休み	12:50	～ 13:10	13:00	～ 13:20
13:05	～ 13:50	12:55	～ 13:40	5校時	13:15	～ 14:05	13:25	～ 14:15
14:00	～ 14:45	13:50	～ 14:35	6校時	14:15	～ 15:05	14:25	～ 15:15
⑤13:55～14:05 ⑥14:50～15:00	⑤13:45～13:55 ⑥14:40～14:50	清掃なしで学活		⑤14:10～14:20 ⑥15:10～15:20	⑤14:20～14:30 ⑥15:20～15:30			
⑤13:55～14:10～14:20 ⑥14:50～15:05～15:15	⑤13:45～14:00～14:10 ⑥14:40～14:55～15:05	清掃&学活		⑤14:10～14:25～14:35 ⑥15:10～15:25～15:35	⑤14:20～14:35～14:45 ⑥15:20～15:35～15:45			

## 観点別学習評価について

令和3年度から始まった、新学習指導要領では、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」という資質・能力の三つの柱に基づき、各教科等の目標や内容が整理されました。併せて、観点別学習状況の評価の観点についても、この資質・能力の三つの柱に基づく「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理して示されました。

**資質・能力の三つの柱**

- ・知識及び技能（何を理解しているか、何ができるか）
- ・思考力・判断力・表現力等（理解していること・できることをどう使うか）
- ・学びに向かう力、人間性等（どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか）



**学習評価の観点**

<p><b>知識・技能</b></p>	<p>○個別の知識及び技能の習得状況について評価します。</p> <p>○それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしているかについて評価します。</p>
<p><b>思考・判断・表現</b></p>	<p>○各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価します。</p>
<p><b>主体的に学習に取り組む態度</b></p>	<p>○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について思考錯誤するなど、自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価する。</p>

**観点別学習状況の評価から評定への総括の流れ**

各教科の学習評価は、学習状況を分析に捉える「観点別学習状況の評価」と、これらを総括的に捉える「評定」の両方について、学習指導要領にさだめる目標に準拠した評価として実施するものとされています。※次ページ参照

## <中学校>

### 【観点別学習状況の評価】

十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの：A<sup>○</sup>

十分満足できると判断されるもの：A

おおむね満足できると判断されるもの：B

努力を要すると判断されるもの：C<sup>○</sup>

一層努力を要すると判断されるもの：C

A<sup>○</sup>=5点, A=4点, B=3点, C<sup>○</sup>=2点, C=1点とする。

組合せの代表例	(合計値)	評定と規準
A <sup>○</sup> A <sup>○</sup> A <sup>○</sup>	(15)	5 十分満足できると判断されるもののうち、 特に程度の高いもの (15点～14点)
A <sup>○</sup> A <sup>○</sup> A	(14)	
A <sup>○</sup> A A	(13)	4 十分満足できると判断されるもの (13点～11点)
A A A	(12)	
A A B	(11)	
A B B	(10)	3 おおむね満足できると判断されるもの (10点～8点)
B B B	(9)	
B B C <sup>○</sup>	(8)	
B C <sup>○</sup> C <sup>○</sup>	(7)	2 努力を要すると判断されるもの (7点～5点)
C <sup>○</sup> C <sup>○</sup> C <sup>○</sup>	(6)	
C <sup>○</sup> C <sup>○</sup> C	(5)	
C <sup>○</sup> C C	(4)	1 一層努力を要すると判断されるもの (4点～3点)
C C C	(3)	

# 教科学習案内・

## 年間指導計画

教科ごとの学習目標、費用化の観点と評価方法、具体的な家庭学習の方法が記載されています。参考にしてください。

なお、年間指導計画は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

## 令和7年度 第2学年 国語科 保護者用学習案内

### 1. 第2学年の学習目標

1	2	3
<p>社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。</p>	<p>論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p>	<p>言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>

### 2. 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。</p>	<p>「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。</p>	<p>言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を生活に役立て、言葉を適切に使おうとしている。</p>
<p>【評価方法】 発言 ノートの記述 小テスト テスト</p>	<p>【評価方法】 発言 ノートの記述 スピーチ 作文 テスト</p>	<p>【評価方法】 発言 観察 ノートの記述</p>

### 3. 具体的な家庭学習の方法

漢字ワークを活用し、漢字の学習を日常的に行うようにしましょう。様々なジャンルの本を読み、読む力や想像する力・考える力を高めましょう。授業で作成したノートや教材を振り返り、自分の考えを深めるようにしましょう。また、必要に応じて自分で調べたことや考えたことをノートにまとめるようにしましょう。

4. 第2学年 年間指導計画案(国語科)

月	題材名	題材目標
前期	見えないだけ	◎言葉の使い方や表現の特徴に着目し、自分なりの感想をもって読む。
	アイスプラネット	◎登場人物の言動に着目して、人物の関係や心情の変化を捉える。 ◎登場人物の考え方や生き方などについて、自分の経験などと関連づけて考えをもつ。 ○文章に用いられている漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。
	枕草子	◎日本の四季を描いた情景描写の巧みさを読み取り、作者の四季の捉え方や感じ方について自分の考えをもつ。 ◎伝えたいことを明確にし、自分の季節感が効果的に伝わるように、描写や構成を工夫して書く。 ○朗読を通して言葉の響きや調子を楽しみ、四季折々の風物に寄せる作者のものの見方、感じ方に触れる。
	単語をどう分ける?	◎単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。
	クマゼミ増加の原因を知る	◎話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。
	熟語の構成	◎熟語の構成の種類について理解を深める。
	短歌に親しむ、短歌を味わう	◎解説文の筆者のものの見方や考え方について、知識や体験と関連づけて自分の考えをもつ。 ◎心情や情景が伝わるように、描写を工夫して短歌を創作する。 ○短歌に示された語句の効果的な使い方や描写の効果を理解し、情景を想像しながら朗読する。
	言葉の力	◎「言葉の本質」についての筆者の考えを読み取り、自分の考えを深める。
	類義語・対義語・多義語	◎類義語と対義語、多義語の意味や用法について理解し、語感を磨き、語彙を豊かにする。
	表現の効果を考える 適切な根拠を選んで書こう	◎相手や目的に応じて通信手段を選ぶことができる。 ◎自分の思いや用件が的確に伝わるように、表現を工夫して書くことができる。 ◎意見を支える適切な根拠の選び方を知る。 ◎意見が明確に伝わるように、構成を工夫する。
後期	弁論分(原稿準備)	◎適切な根拠を選び、構成や記述を工夫して、自分の考えが伝わる弁論を書く。 ◎自分の考えや思いが相手に伝わる表現になっているかどうかを検討する。
	敬語	◎敬語の働きについて理解する。
	ヒューマンノイド	◎文章の構成や場面の展開についての理解を深める。 ◎過去と現在、伏線と結末の関係を読み解き、登場人物の言動の意味を考える。
	★弁論文(発表)	◎相手を意識して資料を活用したり、話し方を工夫したりして、分かりやすく伝える。 ◎相手の話の要点を正確におさえ、相手の意見と比較しながら自分の考えを深める。
	字のない葉書	◎人物の言動や様子の描写に着目して、人柄や心情を捉える。 ◎筆者の父親への思いや家族の絆、人間関係について自分の考えをもつ。
	同じ訓・同じ音をもつ漢字	◎同訓異字や同音異義語などの意味・用法の違いについて理解する。
	モアイは語る—地球の未来	◎文章の構成や論の展開に着目して、筆者の主張を捉える。 ◎構成や展開の工夫や筆者のものの見方や考え方について、自分の考えをもつ。
	月夜の浜辺	◎詩の中の語句や表現の工夫に着目して詩を味わい、詩の世界を豊かに想像する。
	平家物語	◎朗読して、古典の世界を楽しむ。
	扇の的—「平家物語」から	◎古典の文章を朗読して、その独特の調子やリズムに慣れ、作品を読み味わう。 ◎登場人物の言動から心情を理解し、作品に描かれたものの見方や考え方について自分の考えをもつ。
後期	仁和寺にある法師—「徒然草」から	◎古典の文章を朗読して表現に慣れ、作品を読み味わう。 ◎登場人物に対する作者の考えを述べた部分から、ものの見方や考え方について自分の考えをもつ。 ◎古典の登場人物の人物像について、伝えたい事柄を明確にし、文章の構成を工夫して書く。 ○古典の登場人物の人物像について書いた文章を読み合い、自分の考えを広げる。
	漢詩の風景	◎漢詩特有の言葉遣いや調子を生かして読み味わう。 ◎漢詩に歌われている情景や人物の心情を想像し自分の考えをまとめる。
	君は「最後の晩餐」を知っているか	◎語句や表現の工夫に着目して、筆者のものの見方や考え方を読み取る。 ◎筆者の絵画の見方について、自分の知識や体験と関連づけて考えをもつ。
	走る。走らない。走ろうよ。	◎動詞の形の変化について考え、動詞の活用について理解する。 ◎形容詞および形容動詞の活用について理解する。
	走れメロス	◎心情を表す語句や、登場人物の言動の意味などを考え、人物像の変化を捉え、作品を読み深める。 ◎表現のしかた及び主人公の考え方について、根拠となる部分を挙げて自分の考えをもつ。 ○伝えたい事柄を明確にして、構成や文章の形式を選び、表現を工夫して書く。
	一字違いで大違い	◎助動詞について、意味・用法を理解する。助詞について、意味・用法を理解する。
	話し言葉と書き言葉	◎話し言葉と書き言葉の違いについて考え、それぞれの特徴を理解し、実際のコミュニケーションに生かすことができる。
	送り仮名	◎送り仮名の付け方の原則と例外を理解する。
	鍵	◎詩の中に使われている語句に着目して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

書写(毛筆・硬筆)を通年で行います。

令和7年度 第2学年 社会科 保護者用学習案内

1. 第2学年の学習目標

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

2. 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。
<b>【評価方法】</b> ・定期テスト ・ワークシートへの記入 ・学習活動の成果物 ・小テスト 等	<b>【評価方法】</b> ・ワークシートへの記入 ・授業中の見取り ・定期テスト ・単元のまとめ 等	<b>【評価方法】</b> ・ワークシートへの記入 ・学習活動への取り組み ・定期テスト

3. 具体的な家庭学習の方法

- ・授業前に教科書を読み、これから行う学習内容を知る。
- ・社会科の項目を関連づけて考える。
- ・社会的事象の意味をタブレット等を活用して調べる。
- ・授業で学習した内容を思いだし、プリントの空欄を調べ、メモを追加する。
- ・ニュースや新聞などを見て、社会的事象について興味を持つ。

#### 4. 第2学年 年間指導計画案

学期	月	大単元	単元
前期	4	【地理】 世界の諸地域	・北アメリカ州
	5		・南アメリカ州 ・オセアニア州
	6	【地理】 日本のさまざまな地域	・日本の地域的特色
	7	【歴史】 近世の日本と世界	・幕藩体制の確立と鎖国 ・経済の成長と幕政の改革
	9	【地理】 日本の諸地域	・九州地方
	10		・四国・中国地方 ・関西地方 ・中部地方 ・関東地方 ・東北地方 ・北海道地方
	11		【地理】 地域のあり方
後期	12	【歴史】 日本の近代化と国際社会	・近代世界の確立とアジア
	1		・開国と幕府政治の終わり ・明治維新と立憲国家への歩み ・激動する東アジアと日清・日露戦争
	2	・近代の産業と文化の発展	
	3	【歴史】 二度の世界大戦と日本	・第一次世界大戦と民族独立の動き

# 令和7年度 第2学年 数学科 保護者用学習案内

## 1. 第2学年の学習目標

知識および技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数 学化したり、数学的に解釈したり、 数学的に表現・処理したりする技 能を身に付けるようにする。	文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。

## 2. 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。</li> <li>事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。</li> </ul>	文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりしている。
<b>【評価方法】</b> ・定期テスト <ul style="list-style-type: none"> <li>単元テスト・授業内プリント・小テスト</li> </ul>		<b>【評価方法】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業内プリント</li> <li>授業内レポート</li> </ul>

## 3. 具体的な家庭学習の方法

- 自宅に帰宅したら、授業に行った内容を確認する。 ・授業で取り組んだ問題を家で自分の力で解いてみる。
- 問題集を解いてみる。 ・教科書を見直して、大事なところに色ペンでチェック、気づいたことを教科書に書き込む。
- 間違えたところはそのままにせず、必ず解き直す。テスト前にはその間違えたところを重点的に復習する。
- 様々な問題を説明できるようにする。

#### 4. 第2学年 年間指導計画案

学期	月	章	節・小節
前期	4	1章 式の計算	1節 式の計算 ①単項式と多項式 ②多項式の計算 ③単項式の乗法, 除法 ④式の値
	5		2節 式の活用 ①式の活用 ②等式の変形
	6	2章 方程式連立方	1節 連立方程式とその解き方 ①連立方程式とその解 ②連立方程式の解き方 ③いろいろな連立方程式
			2節 連立方程式の活用 ①連立方程式の活用
	7	3章	1節 1次関数 ①1次関数 ②1次関数の値の変化 ③1次関数のグラフ ④1次関数の式の求め方
	9		2節 1次関数と方程式 ①2元1次布袋式のグラフ ②連立方程式とグラフ
			10

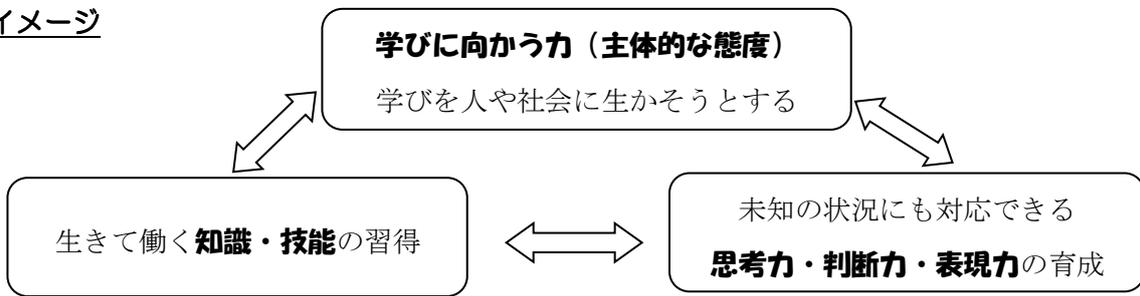
学期	月	章	節・小節
後期	10	4章 同平行と合	1節 平行線と角 ①直線と角 ②多角形の内角と外角
	11		2節 合同と証明 ①合同な図形 ②三角形の合同条件 ③証明とそのしくみ ④作図と証明
	12	5章 三角形と四角形	1節 三角形 ①二等辺三角形とその性質 ②二等辺三角形になるための条件 ③正三角形 ④直角三角形の合同条件
			2節 四角形 ①平行四辺形とその性質 ②平行四辺形になるための条件 ③特別な平行四辺形
	1	3節 三角形と四角形の応用 ①平行線と面積 ②三角形と四角形の活用	
	2	確率章	1節 確率 ①確率の求め方 ②いろいろな確率
		3	データ分析の
	2節 データの活用 ①データの活用		

### 1. 学習目標

(1) 知識および技能	(2) 思考・判断・表現	(3) 主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な金須・実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。	観察・実験などを行い科学的に探究する力を養う。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物、現象を科学的に解決するために必要な資質能力を育成する。

#### イメージ



### 2. 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、規則性や関係性を見だし表現する力が身につけている	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。また、学んだことを生活に還元し、人と関わりながら粘り強く問題解決しようとする態度が見られる
<b>【評価方法】</b> ・定期テスト、小テストなど ・観察・実験レポート（グラフや作図、考察含む） ・観察・実験の手順や取り組み ・実験器具の取り扱い・技能	<b>【評価方法】</b> ・定期テスト、小テストなど ・ノート、レポートの記載内容 ・グラフや図の読み取り、作成	<b>【評価方法】</b> ・課題への取り組み方（問題集、夏休み課題、レポート等） ・課題の提出期限を守る姿勢 ・観察・実験への取り組み（粘り強さ、協力、サポート） ・授業参加（発言・発表）

### 3. 具体的な家庭学習の方法

- ・教科書、ノートを用いて重要語句の確認をする。（音読、マーカー、ノートにまとめるなど）
- ・観察・実験レポートを見直し、観察・実験を行うときの注意事項、ポイントなどを整理してまとめる。
- ・ネットの活用も1つ視野に入れ、クイズ形式での反復学習、NHKforSchoolやYoutube動画等の視覚的なものを補充教材として活用し、理解を深める。
- ・実際に問題を解く。（問題集を活用。授業でも使用するため毎回持ってくるのが望ましいですが、授業中にすべての問題を行うことはできませんので、家庭の学習用としてもご使用ください。）

4. 第2学年 年間指導計画案

学期	月	指導内容・学習内容
前期	4	オリエンテーション <b>エネルギー 電流の性質とその利用</b>
	5	・電気の道すじ～送電線～ ・電流の性質 ・電流の正体
	6	・電流と磁界 ・電気の利用と医療器具の進歩 【ねらい】日常生活との関連をはかりながら、電流と回路や静電気、電流の磁気作用などの実験を通して、電流の性質や正体、電流のはたらきについて理解させる。
	7	<b>生命 動物の生活と生物の変化</b>
	8	・生物とは何だろう 動物とはどのような生物だろう ・生物の体と細胞 ・生命を維持するはたらき
	9	・感覚と運動のしくみ ・動物のなかま ・生物の移り変わりと進化 ・ひろがる動物の世界 ～未知の動物をさがす～
	10	【ねらい】生物のからだは細胞からできていることを、観察を通して理解させる。また、動物などについての観察。実験を通して、動物のからだのつくりとはたらきを理解させ、動物の生活と種類についての認識を深めるとともに、生物の変遷について理解させる。
後期	10	<b>物質 化学変化と原子・分子</b>
	11	・銀をつくる粒子 ・物質の成り立ち ・物質を表す記号 ・さまざまな化学変化 ・化学変化と物質の質量 ・原子番号113番、日本発の元素へ
	12	【ねらい】化学変化における物質の変化や量的な関係を、実験を通して探究的に追求させるとともに、それらの現象を原子・分子のモデルを用いて微視的に考えることができるようにさせる。
	1	<b>地球 地球の大気と天気の変化</b>
	2	・ダイナミックな霧「肱川あらし」 ・空気中の水の変化 ・天気の変化と大気の動き ・大気の動きと日本の四季 ・局地的大雨から身を守る
	3	【ねらい】身近な気象に進んでかかわり、大気中の水の凝結に関する観察・実験や気象観測、天気図や雲画像を活用した分析・解釈などを通して、天気変化のしくみと規則性を理解させる。

令和7年度 第2学年 音楽科 保護者用学習案内

1. 第2学年の学習目標

(1)	(2)	(3)
<p>曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。</p>	<p>曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p>	<p>主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。</p>

2. 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。</li> <li>・ 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて、歌唱、器楽、創作で表している。</li> </ul>	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</p>	<p>音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<p>【評価方法】 発言 観察 記述内容 演奏の聴取 作品</p>	<p>【評価方法】 発言 観察 記述内容</p>	<p>【評価方法】 発言 観察 記述内容</p>

### 3. 具体的な家庭学習の方法

音や音楽、様々な音楽や文化に興味をもち、観たり聴いたりして親しみましょう。その際、気づいたことと、感じたことがどのように関係しているかについて考え、家族や友達とよさや美しさについて意見を共有してみましょう

### 4. 第2学年 年間指導計画案

学期	月	題材名 教材	題材目標
前期	4	曲想を感じ取り 音楽表現を工夫 しよう	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解し、他者と合わせて歌う技能を身に付ける。 ・音楽の要素を知覚・感受しながらその関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。
		情景を思い浮か べながら歌おう	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な技能を身に付ける。
	6	夏の思い出	・音楽の要素を知覚・感受しながらその関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現を創意工夫する。
		荒城の月	・音楽の要素を知覚・感受しながらその関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現を創意工夫する。
	7	オペラの魅力を 味わおう 「アイーダ」	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他芸術との関わりを理解する。 ・音楽の要素を知覚・感受しながらその関わりについて考え音楽表現の共通性や固有性について音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴く。
後期	8	豊かな響きで表 現を工夫しよう	・曲想と音楽の構造や声部の役割と全体の響きとの関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な技能を身に付ける。
	9	合唱コンクール 自由曲	・音楽の要素を知覚・感受しながらその関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現を創意工夫する。
後期	10	音の重なり方や 構成を工夫し て、間奏をつく ろう	・音色、リズム、テクスチャ、構成と音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について理解し創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な技能を身に付ける。 ・音楽の要素を知覚・感受しながらその関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現を創意工夫する。
		創作作品	・音楽の要素を知覚・感受しながらその関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現を創意工夫する。
	11	構成や曲想の変 化を味わおう	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他芸術との関わりを理解する。 ・音楽の要素を知覚・感受しながらその関わりについて考え音楽表現の共通性や固有性について音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴く。
後期	12	交響曲第5番	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他芸術との関わりを理解する。 ・音楽の要素を知覚・感受しながらその関わりについて考え音楽表現の共通性や固有性について音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴く。
		和楽器の音色に 親しもう さくらさくら 創作作品	・楽器の音色や響き、奏法との関わりや音階や言葉などの特徴について理解し創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な技能を身に付ける。 ・音楽の要素を知覚・感受しながらその関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現を創意工夫する。

1 2	日本の伝統芸能 に親しみもう 長唄 勸進帳 歌舞伎 勸進帳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国や郷土の伝統音楽の特徴と、音楽の多様性を理解する。</li> <li>・音楽の要素を知覚・感受しながらその関わりについて考え音楽表現の共通性や固有性について音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴く。</li> </ul>
3	心に残る合唱を しよう 学年合唱曲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や声部の役割と全体の響きとの関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な技能を身に付ける。</li> <li>・音楽の要素を知覚・感受しながらその関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現を創意工夫する。</li> </ul>

令和7年度 第2学年 美術科 保護者用学習案内

1. 第2学年

(1)	(2)	(3)
対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図、造形的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生みだし、豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしりことができるようにする。	主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2. 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。</li> <li>意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。</li> </ul>	<p>自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図、造形的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生みだし、豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</p>	<p>美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>形や色彩、材料、光などの性質や、それらの感情にもたらす効果を理解している。</li> <li>造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</li> <li>材料や用具などの生かし方などを身に着け、意図に応じて工夫して表している。</li> <li>材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表している。</li> </ul>	<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な攻勢を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</li> </ul>	<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>美術の創造活動の喜びを味わい楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>

3. 具体的な家庭学習の方法

- 制作のための材料や用具の準備
- 鑑賞や制作のための資料集めを主体的にする。
- 著作物や他人の制作した作品へのマナーの理解
- 学習した内容に関連した情報番組・教育テレビ等の視聴

4. 第2学年 年間指導計画案

学期	月	題材名	題材目標	教材
前期	4	【工芸・表現】木彫	<ul style="list-style-type: none"> <li>木彫によってできる、凹凸の美しい表現に気づき、彫りの楽しみを知る。</li> <li>仕上げの違いに留意し、質感の違いによってできる多様な表現を楽しむ。</li> </ul>	彫刻刀 紙やすり ニス 等
	5			
後期	6	【表現・鑑賞】 今を生きる私へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>構図や顔の角度、表現やしぐさ、背景、色彩などに着目し、印象などをとらえ、絵の具や用具の特性を生かして表す。</li> <li>心の内面や顔のイメージをもとに、構図や表情などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</li> <li>心の中を見つめ、自画像で表すことに関心を持ち、意欲的に取り組む</li> </ul>	教科書 美術資料集 アクリル絵の具
	7			
	8			
	9	【鑑賞】 絵画表現の変化に挑んだ ゴッホやモネ  —関連題材— 【鑑賞】 浮世絵はすごい 【鑑賞】 文化の出会いがもたらしたもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業革命や化学の発展によって人類の視覚は大きく変化したことを理解する。</li> <li>19世紀後半、印象派絵画をきっかけに美術の視覚も大きく変化したことに気づく。</li> <li>構図や色彩、線などに着目し、日本美術の作風や印象がどのように生かされているか捉える。</li> <li>ジャポニズムの表現の特色や作者の意図と創造的な工夫、美術を通じた国際理解、美術文化の継承と創造について考え、鑑賞する。</li> <li>ジャポニズムの表現の特色や美しさ、時代背景などに関心を持ち、意欲的に鑑賞に取り組む</li> </ul>	教科書 美術資料集 クロムブック
	10.			
	11.			
	12.			
	1	【デザイン・表現】 魅力が伝わるパッケージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活を彩るパッケージデザインに関心を持つ。</li> <li>多くの人に製品の魅力が伝わるように、パッケージの形体や装飾の構想を練る。</li> <li>制作の順序などを総合的に考え、見通しを持って表現しようとする。</li> <li>様々な視点を活かして作品の造形的な美しさなどを味わい、美術の働きを理解する。</li> </ul>	教科書 ファイル 糊 カッター 等
	2			
	3			

# 令和7年度 第2学年 保健体育科 保護者用学習案内

## 1. 第2学年の学習目標

(1)	(2)	(3)
<p>体育 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。</p> <p>保健 個人生活における健康・安全の関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。</p>	<p>体育 運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。</p> <p>保健 個人生活における健康・安全の関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。</p>	<p>体育 運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割をなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。</p> <p>保健 個人生活における健康・安全の関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。</p>

## 2. 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>体育 ○各領域の ・特性や成り立ちを理解している。 ・技術の名称や行い方理解している。 ・関連して高まる体力を高めようとしている。 ・伝統的な考え方を理解している。 ・表現の仕方を理解している。 ・健康・安全に留意している。 ・スポーツの多様性を理解している。 ・運動やスポーツの意義を理解している。 ・運動やスポーツの効果と学び方を理解している。 ・基本的な技能を身に付けることなどを理解している。</p> <p>保健 ○健康な生活と疾病の予防と傷害の防止について、問題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識として身につける。</p>	<p>体育 ○課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ○基礎的な知識・技能を活用して、学習課題への取り組み方を工夫している。 ○運動の目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫している。 ○課題の発見や解決を通して自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>保健 ○健康な生活と疾病の予防と傷害の防止について、課題の解決を目指して科学的に考え、判断し、自らの考えを表そうとする。</p>	<p>体育 ○授業の約束を守っている。 ○積極的に授業に取り組もうとしている。 ○よい演技を認めようとしている。 ○勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。 ○フェアなプレイを守ろうとしている。 ○相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとしている。 ○互いのよさを認め合おうとしている。 ○分担した役割を果たそうとしている。 ○話し合いに参加しようとしている。 ○最善を尽くして運動をしている。</p> <p>保健 ○健康・安全に気を配っている。 ○健康な生活と疾病の予防と傷害の防止について関心や意欲を持ち、主体的に学習に取り組もうとする態度を身につける。</p>
<p>【評価方法】 前期・後期の期末テスト 活動での見とり 技能（ねらいに即した動き） 学習ノート・振り返りプリント</p>	<p>【評価方法】 グループ活動 学習ノート・振り返りプリント 活動での見とり</p>	<p>【評価方法】 活動での見とり 学習ノート・振り返りプリント</p>

## 3. 具体的な家庭学習の方法

- ・教科書・実技本・保健ノートを復習し、基本的な知識を定着させる。
- ・授業で伝えられたねらいやポイントを理解し、実技ノートに書き写し復習する。
- ・指定された部分のレポート作成。

4. 第2学年 年間指導計画案 (教科ごと 任意の形式)

学期	月	題材名	題材目標	教材
前期	4	保健体育ガイダンス 陸上競技 器械運動 保健	保健体育の基本的な活動の仕方を理解すること。陸上競技・器械運動・保健の特性を理解し基本的な知識と技能向上を目指すこと。	教科書・保健ノート 実技本・振り返りプリント
	5	陸上競技 器械運動	陸上競技・器械運動・保健の特性を理解し基本的な知識と技能向上を目指すこと。	教科書・保健ノート
	6	体づくり運動 体育理論・保健	保健体育の基本的な活動の仕方を理解すること。	実技本・振り返りプリント
	7	剣道 ハンドボール	剣道・ハンドボール・保健の特性を理解し基本的な知識と技能向上を目指すこと。保健体育の基本的な活動の仕方を理解すること。	教科書・保健ノート
	8	体づくり運動 体育理論・保健	剣道・ハンドボール・保健の特性を理解し基本的な知識と技能向上を目指すこと。保健体育の基本的な活動の仕方を理解すること。	実技本・振り返りプリント
	9	剣道 ハンドボール ソフトボール	剣道・ハンドボール・ソフトボール・ダンス・保健の特性を理解し基本的な知識と技能向上を目指すこと。	教科書・保健ノート
	10	ダンス 保健	ソフトボール・ダンス・保健の特性を理解し基本的な知識と技能向上を目指すこと。保健体育の基本的な活動の仕方を理解すること。	実技本・振り返りプリント
	11	ソフトボール ダンス 体づくり運動	ソフトボール・ダンス・保健の特性を理解し基本的な知識と技能向上を目指すこと。保健体育の基本的な活動の仕方を理解すること。	教科書・保健ノート 実技本・振り返りプリント
	12	体育理論・保健	ソフトボール・ダンス・バレーボール・バスケットボール・保健の特性を理解し基本的な知識と技能向上を目指すこと。	教科書・保健ノート 実技本・振り返りプリント
	後期	1	ソフトボール ダンス バレーボール	ソフトボール・ダンス・バレーボール・バスケットボール・保健の特性を理解し基本的な知識と技能向上を目指すこと。
2		バスケットボール 保健	バレーボール・バスケットボール・保健の特性を理解し基本的な知識と技能向上を目指すこと。保健体育の基本的な活動の仕方を理解すること。	教科書・保健ノート
3		バレーボール バスケットボール 体づくり運動 体育理論・保健	バレーボール・バスケットボール・保健の特性を理解し基本的な知識と技能向上を目指すこと。保健体育の基本的な活動の仕方を理解すること。	実技本・振り返りプリント

# 令和7年度 第2学年 技術科 保護者用学習案内

## 1. 第2学年の学習目標

(1)	(2)	(3)
生活や社会で利用されているエネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。	生活や社会で利用されているエネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

## 2. 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。
【評価方法】 筆記試験 作品 作業・実習での見とり	【評価方法】 レポート	【評価方法】 ワークシート レポート

## 3. 具体的な家庭学習の方法

- ・ワーク（技術・家庭ノート）を復習し基本的な知識を定着させる
- ・授業で配布されたプリント等を復習する
- ・レポートは感想を書くだけでなく、生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し表現するなどして課題を解決しているかどうかが大事です。

#### 4. 第2学年 年間指導計画案

学期	月	題材名	題材目標	教材
前期	4	生活や社会を支えるエネルギー変換の技術の例や，問題解決の工夫について	エネルギー変換についての科学的な原理・法則と，エネルギー変換の基礎的な技術の仕組みを説明できる。	教科書 ワーク
	5	電気製品の回路図や製作図として表す	製作・実装に必要な図をかき表すことができる。	ワークシート
	6	電気実習	安全・適切に製作・実装を行い，製作品の動作を点検し，必要に応じて改善・修正することができる。	電気回路 キット
	7			
後期	9	まとめレポート	より安心・安全な社会を構築するエネルギー変換の技術の在り方について考えることができる。	ワークシート
	10			
	11	情報の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み	情報の表現，記録，計算，通信などについての科学的な原理・法則や，情報のデジタル化，処理の自動化，システム化などに関わる基礎的な技術の仕組みを説明できる。	教科書 ワーク
	12			
	1	情報モラル	著作権等に気をつけて設計するなど，知的財産を創造，保護及び活用しようとしている。	教科書 ワーク
	2	プログラミング実習	安全・適切なプログラムの制作，動作の確認及びデバッグ等ができる。	PC
	3	まとめレポート	社会の問題を見だし，情報の技術で解決できる課題を設定できる。	ワークシート

1, 第2学年の学習目標

(1)	(2)	(3)
<p>家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。</p>	<p>家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。</p>	<p>自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>

2, 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。</p>	<p>これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。</p>	<p>家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
<p><b>【評価方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 筆記試験</li> <li>・ 作品</li> <li>・ 作業や実習での見取り</li> </ul>	<p><b>【評価方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ レポート</li> </ul>	<p><b>【評価方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシート</li> <li>・ レポート</li> </ul>

3, 具体的な家庭学習の方法

- ・ 授業内容を振り返り、基本的な知識を定着させる。
- ・ 授業内で配布されたプリントの復習
- ・ レポートは感想を書くだけでなく、生活や社会の中から家庭生活に関わる問題を見だし課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決しているかどうか大切です。
- ・ 提出日を守りましょう。

4, 第2学年 年間指導計画案

学期	月	題材名	題材目標	教材
前期	4	ガイダンス	家庭科の見方・考え方に気づくことができる。	教科書
	5	・家族・家庭と地域		
後期	6	<私たちの食生活> ・食生活と栄養 食事の役割 栄養素の種類と役割	・自分の食生活を振り返り、よりよい食生活を送ろうと考える。 ・食事の役割と中学生に必要な栄養について知り、実践につながる具体的な方法を考える。	教科書 プリント
	7	中学生に必要な栄養素	・栄養素の種類とその働きを知り、食品の特徴と体や心に与える影響などを考える。	
	8			
	9	・献立作りと食品の選択 バランスのよい食事	・1日に必要な栄養素と食品をの概量を知り、実生活と照らし合わせて、1食・1日の献立を立てられる。	
	10	生鮮食品と加工食品		
	11	購入と保存	・生鮮食品の特徴や選択の仕方を考える。	
	12	食中毒	・様々な加工方法と保存方法を知る。 ・安全な食生活を送る具体的な方法を考える。	
	1	・調理と文化 肉の調理 魚の調理	・食品や調理用具の衛生と安全を考え、実践につなげる。 ・食品の特性と扱い方を知り、材料に応じた加熱調理の方法を実践する。	
	2	野菜の調理 地域の食材	・地産地消の食材を知り、材料に応じた加熱調理の方法を実践する。	
	3	マナーや文化	・食のマナーや文化について考える。 ・食を取り巻く様々な問題や、環境との関係を考え、改善策を考え評価する。	

使用食材予定 季節や時期を考慮して、題材と題材の間に調理を入れていきます。

しょうが焼き	つみれ汁	おひたし	ホワイトシチュー	蒸しパン	かき玉汁
豚肉・サラダ油・酒・しょうが・しょうゆ・キャベツ	さんま・小麦粉・日本酒・しょうが・しょうゆ・ごぼう・青ネギ	ほうれん草・塩・かつおぶし・しょうゆ	牛乳・小麦粉・バター・タマネギ・ジャガイモ・鶏肉・にんじん・コンソメ	市販ホットケーキミックス・卵・サラダ油・牛乳	煮干し・こんぶ・かつお節・酒・しょうゆ・卵・青ねぎ

# 令和7年度 第2学年 英語科 保護者用学習案内

## 1. 第2学年の学習目標

(1)	(2)	(3)
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

## 2. 評価の観点と趣旨・評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語の音声や語彙、表現、文法などを理解している。</li> <li>実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考えをなど簡単な外国語で伝え合う技能を身に付けている。</li> </ul>	<p><b>【話すこと・書くこと】</b> 日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考えなどを、話したり書いたりしている。</p> <p><b>【聞くこと・読むこと】</b> 日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報や要点などを捉えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</li> <li>言語活動への取り組みに関して見通しを立てたり振り返ったりして自らの学習を自覚的に捉えている。</li> </ul>
<p><b>【評価方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期テスト</li> <li>小テスト</li> </ul>	<p><b>【評価方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期テスト</li> <li>パフォーマンステスト（音読、会話、発表など）</li> <li>英作文など</li> </ul>	<p><b>【評価方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業、言語活動への取り組み状況</li> <li>パフォーマンステスト（音読、会話、発表など）</li> <li>英作文など</li> </ul>

## 3. 具体的な家庭学習の方法

- ・予習 学習する Unit のノート作り 本文、基本文、新出単語の意味調べ（ミニラボが便利）
- ・復習 学習した Unit の基本文の構造や日本語訳の確認、教科書の音読など
- ・ルーティンワーク 単語練習や基本文の音読、英文の書き練習など
- ・新出事項の定着 エイゴラボの繰り返し活用、小テストの解き直しなど

#### 4. 第2学年 年間指導計画案

学期	月	単元名	学習内容	学習目標
前期	4	Unit 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 年次復習</li> <li>動詞の過去形</li> <li>過去進行形</li> <li>接続詞 when</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日記を読んで、おおまかな内容を捉えることができる。</li> <li>出来事や感想などを日記に書くことができる。</li> </ul>
	5	Unit 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>動名詞</li> <li>不定詞〈名詞的用法〉</li> <li>I think ~</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の話から、企画に必要な情報を聞き取ることができる。</li> <li>企画への希望や意見を、その場で伝え合うことができる。</li> </ul>
	6	Unit 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>be going to ~</li> <li>It will ~</li> <li>接続詞 if</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メールの用件や返事が必要なことを読み取ることができる。</li> <li>用件や気持ちが伝わるように、メールの返事を書くことができる。</li> </ul>
	7 9	Unit 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>There is (are) ~.</li> <li>show+人+もの</li> <li>不定詞〈形容詞的用法〉</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グルメの紹介記事から、必要な情報を読み取ることができる。</li> <li>町の名物の魅力が伝わるように、詳しく説明することができる。</li> </ul>
後期	10	Unit 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>助動詞 have to, must should</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時に役立つものの説明から、必要な情報を聞き取ることができる。</li> <li>必要だと思うものについて、意見を整理して伝え合うことができる。</li> </ul>
	11 12	Unit 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>不定詞〈副詞的用法〉</li> <li>接続詞 because</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>紹介記事を読んで、おおまかな内容を捉えることができる。</li> <li>わかりやすい文章構成で、紹介記事を書くことができる。</li> </ul>
	1	Unit 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>比較表現 比較級、最上級 as ~ as ...</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポスター案の説明を聞いて、おおまかな内容を捉えることができる。</li> <li>複数のポスター案を比べ、自分の意見とその理由を伝え合うことができる。</li> </ul>
	2 3	Unit 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>受け身の文</li> <li>make +人・もの+形容詞</li> <li>want+人+不定詞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手紙から、書き手の意図や気持ちを読み取ることができる。</li> <li>意図や気持ちが伝わるように、手紙の返事を書くことができる。</li> </ul>

学校の教育目標

日本国憲法  
教育基本法  
学校教育法  
学習指導要領

新しい時代を創造するための教養を身につけさせ、心身ともに健全で調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。  
(1) 学力を高め、自ら考え正しい判断ができる人 (知)  
(2) 美しい豊かな心を持ち、思いやりがあり、助け合える人 (情)  
(3) 責任を重んじ、実行力のある人 (意)  
(4) 体力を高め、健康で自分を大切にすること (体)

<p><b>I 確かな学力を身につける教育の推進</b></p> <p>◎興味・関心を高め、基礎的・基礎学力の定着を図る魅力ある授業を実践し、生徒一人ひとりに確かな学力を身につけさせる。</p>	<p><b>II 心の教育の推進</b></p> <p>◎生徒一人ひとりを大切に、生徒と教職員との信頼関係を築きながら、明るく生き生きとした学校をつくる。</p>	<p><b>III 健康・安全教育の推進</b></p> <p>◎すべての生徒が心身ともに健康で、安心して学習でき、安全な教育環境整備を進める。</p>	<p><b>IV 開かれた学校づくりの推進</b></p> <p>◎家庭・地域との連携を積極的に図り、開かれた学校づくりに推進する。</p>
---	---	--	--

**道徳教育の研究主題**  
「伝え合う道徳、気づき・考え・ウェルビーイングの状態を目指す」生徒の育成

**道徳教育の重点目標**  
「生徒につけたい力」を身につけさせるための指導の充実を図る。

A- (2) 望ましい生活習慣	A- (1) 自主・自立の精神・責任感	B- (7) 礼儀の意義の理解
B- (6) 人間愛と思いやりの心	B- (9) 自他の尊重・謙虚な心	D- (19) 生命の尊重
D- (20) 自然愛、畏敬の念	A- (4) 人間の弱さ、生きる喜び	C- (10) 法のきまり
C- (3) 正義感・公正・公平	C- (15) 集団生活の向上・役割と責任	D- (22) よりよく生きる喜び

学年の目標			
<p><b>1年</b></p> <p>① 充実した中学校生活を送るために、集団でのマナーやルールを身につけ、基本的な生活習慣を定着させる。</p> <p>② 自ら考え、正しい判断力をもって行動し、他人を思いやる心を育てる。</p> <p>③ いろいろな活動に意欲的に参加させ、自己の力を伸ばし、発揮できるように支援する。</p>	<p><b>2年</b></p> <p>① 中堅学年としての立場を自覚し、正しい判断力を身につけ、行動できる生徒の育成。</p> <p>② 集団生活の向上のために、自己の役割と責任を自覚し、みんなで努力する心と力を持った生徒の育成。</p> <p>③ 相手の話を正しく把握し、自らの考えを的確に述べることにより、互いに高めあえる生徒の育成。</p>	<p><b>3年</b></p> <p>① 充実した中学校生活を送るために、集団でのマナーやルールを身につけ、基本的な生活習慣を定着させる。</p> <p>② 自ら考え、正しい判断力をもって行動し、他人を思いやる心を育てる。</p> <p>③ 諸活動に意欲的に参加させ、自己の力を伸ばし、発揮できるように支援をする。</p> <p>④ 最高学年としての意識を持ち、自主自律の精神を育む。</p>	<p><b>特別支援学級</b></p> <p>健康・安全で自立した生活を営むために必要な日常生活習慣を養い、その能力を十分に発揮するため、心身諸機能の調和的発達を図る。</p>

学級経営

<p><b>教科</b></p> <p><b>国語</b> 自分の課題の課題と向き合い【気づき】、考えを表現するために言語感覚を豊かにし、相手に伝える力を養う【考え・行動】</p> <p><b>社会</b> 気づき・考え・表現する力を育てる社会科学習指導の研究</p> <p><b>数学</b> 数学的な見方・考え方ははたらかせ、学び続ける力の育成</p> <p><b>理科</b> 自然の事象・現象について問題を解決する目的意識をもって科学的に問題を追究しながら【気づき】、獲得した知識・技能を問題解決のために活用できる生徒の育成【考え・行動】</p> <p><b>音楽</b> 題材で育成を目指す資質・能力を明確にした、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善</p> <p><b>美術</b> 見る・考える・表現する力の育成 ～造形活動や鑑賞活動をきっかけに、他者や自己との対話を通して～</p> <p><b>保体</b> 体育分野 運動の特性にふれさせながら基礎的な知識及び技能を習得させ、自己や仲間の課題に気づき、解決のために自ら考え行動できる生徒の育成 保健分野 見方・考え方を働かせ、自他の健康に関心をもち、心身の健康を適切に管理し、自ら改善していく実践力の育成。</p> <p><b>技家</b> 気づき、考え、表現、行動する力の育成 ～生活の営みに係る見方・考え方ははたらかせた実践的・体験的な授業を通して～</p> <p><b>外国語</b> 英語で伝える力を育む指導の工夫～インプットからアウトプットへ～</p>	<p><b>総合的な学習の時間</b> 「気づき・考え・行動する」を主題とし、【環境】・【福祉】・【キャリア、他】についての活動を通して、自己の在り方生き方を探究する学びを行い、課題解決の能力を養い「生きる力」を育む。</p>	<p><b>道徳の時間</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全教育活動における道徳的教育を補充・深化・統合して、生徒の道徳性の育成を図る。</li> <li>・話し合いの活動を充実させ、資料によって様々な人間の生き方を考えさせ、それへの共感、批判を通して道徳的な物の考え方、感じ方を高め、自ら生き方の自覚を深める。</li> </ul>
<p><b>家庭・地域との連携</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 広報活動の充実       <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校便りの充実、学年便りの定期的な発行と充実にも努める。</li> <li>・ホームページの定期的な更新にも努める。</li> </ul> </li> <li>② 保護者、地域との連携、誠実な対応       <ul style="list-style-type: none"> <li>・外来者への誠実な対応に心がける。</li> <li>・学校と家庭との迅速な連携に努め、相互理解を深める。</li> <li>・地域活動への生徒や教職員の参加を積極的に行う。</li> </ul> </li> <li>③ 近隣小学校、高校との連携の工夫と充実       <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校説明会等のいっそうの充実をはかる。</li> <li>・時期と内容の検討を行う。</li> <li>・学習ボランティア活用を検討する。</li> </ul> </li> <li>④ 学校評価の実施と活用</li> </ol>		

道徳 2 学年年間指導計画

※学期と学期終わりに振り返り及びアンケートを行います。

月	内容項目・教材名(他教科・領域や現代的な課題等との関わり) (★)	ねらい
10月	ユニット 1 内容項目を決定しない 1 道徳の学習を始めよう ★ [A] (1) 自主、自律、自由と責任 2 カカカカ ★ いじめ問題/法教育	道徳で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて考えさせながら、1年間の道徳の学びの見通しをもたせ、これからの学びを広げたり、深めたりしていくという実証意欲と態度を育てる。 電卓の中で眠る恐ろしい姿を扱う主人公の姿を通して、自ら考えて行動するとはどういうことかについて考えさせ、物事を自主的に考え、解決策を探りしよと判断力を育てる。
4月	★ [A] (4) 尊重と敬意、見返と強い意志 3 アイアの眼を奪いたい ★ 社会科/道徳科/キャリア教育/伝統文化教育	本物のアイア眼を奪えるようになりたという目標を実現したアイア眼師の手川上正己の姿から、何かをやり遂げようとするとき、その根拠にあるのはどんな思いかを考えさせ、より高い目標をもち、困難や失敗を乗り越えようとする心構えを育てる。
5月	★ [B] (6) 相互理解、寛容 4 ジョコウ ★ 特別活動(学級活動)/いじめ問題 [D] (19) 生命の尊厳 5 命が生まれるそのときに ★ 保健体育科/保健・医療科/図書情報活用/キャリア教育 ★ [B] (6) 思いやり、感謝 6 気づかなかったこと	クラスメートの行動を自己中心防衛で決めつけていた生徒の物語を通して、考え方や立場の違いを理解し合うためにはどんなことが大切なのかを考えさせ、互いの考えを伝え合い、それぞれの立場を思いやり尊重しようとする実践意欲と態度を育てる。 胸「いのちの言」と、出版を撮影するフォトグラファーの文章や写真を通して、「生きていく」という尊厳について考えさせ、かけがえのない生命を尊重しようとする心構えを育てる。
6月	ユニット 2 いじめを許さない心について考える 7 嫌われるのを恐れる気持ち ★ いじめ問題 ★ [C] (11) 公正、公平、社会正義 8 明日、みみで寝よう ★ いじめ問題/社会参加に関する教育/福祉に関する教育 ★ [B] (6) 友誼、信頼 9 「いじり」って(まなびをプラス) ★ いじめ問題	他人に嫌われることを恐れ、本心を表に出さないことに関わる生徒の物語を通して、自分らしく生きていくとはどういうことか考えさせ、自己を見つめ、弱さも含めて自己の個性であることを肯定的に受け止め、その個性を伸ばしよと判断力を育てる。 「ピンタジャツター」といういじめ反対運動を世界に広めたカナダの生徒たちの実話を通して、誰もが安心して過ごせる社会にするためには、どんなことが大切かについて考えさせ、いじめや差別、偏見のない社会を実現していくという実践意欲と態度を育てる。 「いじり」について話し合うことを通して、友誼を育むために大切なことは何かを考えさせ、相手の個性を認め、相手に対する敬意をもとに、よりよい関係を築こうとする判断力を育てる。
7月	ユニット 3 よりよい学校生活を築くためには? [C] (15) よりよい学校生活、集団生活の充実 10 チニス部の危機 ★ いじめ問題/キャリア教育 ★ [B] (6) 友誼、信頼 11 絵巻づえ ★ いじめ問題 ★ [D] (2) よりよく生きる喜び 12 入って、本場? ★ 保健体育科/社会科	チニス部の活動方針を巡って対立した生徒の物語を通して、集団の一員として、よりよくするために大切なことは何かを考えさせ、集団として活動する意義と、よりよい集団であるためにどうすればよいかを判断力を育てる。 松原づえを探い生活する高校生に届いていたクラスメートたちが、しだいに態度を変えてしまう姿を通して、「友誼」とはどういうものか考えさせ、心から信頼し、助け合える友誼関係を築いていくという心構えを育てる。 孟子の「性善説」と荀子の「性悪説」を通して、人の心は善か悪かを見つめながら、よりよく生きるために大切にしたいことについて考えさせ、自分の生き方をよりよいものにしていくという実践意欲と態度を育てる。
9月	ユニット 4 社会の一員として働くとは? ★ [B] (7) 礼儀 13 礼儀は神のため ★ 特別活動(学校行事)/図書情報活用/キャリア教育 ★ [C] (13) 勤労 14 競べーランドへの思い ★ 特別活動(学校行事)/キャリア教育/社会参加に関する教育/防災教育 ★ [D] (20) 自然環境 15 命の尊厳を守る山です ★ 図書情報活用/共生/環境教育/キャリア教育/社会参加に関する教育/法教育 ★ [C] (12) 社会参加、公共の精神 16 賑わいの時間 ★ キャリア教育/社会参加に関する教育/伝統文化教育/防災教育	登場人物が二つの場面でも考えたことを通して、礼儀にはどんな心が求められるのかを考えさせ、礼儀の意義を考えた行動しようとする判断力を育てる。 道徳者の道徳を育てる際ポールベッドを参考に、既読を無視で公表した会社の人の話を通して、働くことの意味や責任について考えさせ、勤労を通じて社会に貢献しようとする実践意欲と態度を育てる。 富士山のガイドをする近衛一さんが自身の活動や思いについて述べた文章を通して、自然を守るとはどういうことかについて考えさせ、自然の素晴らしさを認め、自然環境を大切にすることの意義を理解しようとする心構えを育てる。 消防団に参加する善哉さんの姿を通して、社会の一員として地域に関わっていくには、どんなことが大切なのかについて考えさせ、自分が暮らす地域や社会の中で、協力して生きていくという心構えを育てる。
10月	コラム 環境 国立公園を築しよう なんだろう なんだろう「ゆるす」って、なんだろう。 ★ [B] (6) 思いやり、感謝/★ [B] (6) 相互理解、寛容 環境学習や前年度の学習成果を活用して、「なんだろう なんだろう」を読み、「ゆるす」とは何なのか、考えてみる。 ユニット 5 情報モラルについて考える ★ [A] (2) 態度、節制 17 夢中になるのは悪いこと? ★ 保健体育科/保健・医療科/健康教育/情報モラル ★ [B] (6) 相互理解、寛容 18 見えない輪か(まなびをプラス) ★ 芸術・音楽科/いじめ問題/情報モラル	ネット依存に関する制限やオンラインゲームに夢中になる生徒の物語を通して、インターネットをうまく付き合っていくための習慣について考えさせ、態度を守り、節制を心がけた生活をしようとする実践意欲と態度を育てる。 同じサッカーチームを応援する立場ながら、インターネット上で批判し合うAさんとBさんの事例を通して、人とのコミュニケーションの取り方について考えさせ、相手の立場や考えを理解し、適切に考えを伝えようとする実践意欲と態度を育てる。
11月	ユニット 6 よりよい生き方を築くためには? ★ [D] (19) 生命の尊厳 19 つなぐ命 ★ 図書情報活用/福祉に関する教育/法教育 ★ [C] (17) 寛容の心 20 木曾仕込みのしょうゆと伝説 ★ 芸術・音楽科/キャリア教育/食育/伝統文化教育 ★ [C] (10) 道徳精神、公徳心 21 民生委員と多岐の役割について ★ 社会科/特別活動(学級活動)/キャリア教育/社会参加に関する教育/法教育 ★ [C] (10) 道徳精神、公徳心 22 夢中になるのは悪いこと? ★ 特別活動(学校行事) ★ [C] (15) よりよく生きる喜び 23 賑わいの時間 ★ 社会参加に関する教育/伝統文化教育 ★ [B] (6) 相互理解、寛容 24 北川さんの悩み ★ 図書情報活用/社会参加に関する教育/福祉に関する教育	命とつながる物語が、女性の命を救済したことを取り上げた新聞記事を通して、「命」について考えさせ、かけがえのない生命を尊重しようとする心構えを育てる。 昔ながらの方法で醤油作りや木曾削りに取り組む山本さんの考えを通して、伝統的な文化を受け継いでいくために大切なことは何かを考えさせ、我が国の伝統文化を継承しようとする心構えを育てる。 民生委員における多岐の役割について知り、高齢者や社会で何かを決めようとするときに大切なことは何かを考えさせ、自他の権利を大切にしたいという心構えを育てる。 不平等な紛争を解決するために役立つものを話し合いで決める活動を通して、権限の譲渡と話し合うことの意義や効果について考えさせ、自分も積極的に参加し、互いの考えを尊重し、決めたことに対して、責任をもつよう実践意欲と態度を育てる。 郷土の祭りや町おこしに対する生徒の思いを通して、ふるさとを思う心について考えさせ、郷土の伝統文化を継承しようとする心構えを育てる。 地域清掃への取り組みについて異なる考え方の二人が問題解決した話を通して、立場の異なる人と関わる時に大切なことは何かについて考えさせ、互いの考えを尊重し、相互理解を促す判断力を育てる。
12月	ユニット 7 共に生きていくために大切なことは? ★ [C] (18) 国際理解、国際貢献 25 境界線を越えよう ★ 社会科/共生/キャリア教育/国際理解教育 ★ [C] (11) 公正、公平、社会正義 26 カメルーン生まれ、日本育ち ★ 社会科/図書情報活用/いじめ問題/共生/国際理解教育 ★ [C] (11) 公正、公平、社会正義 27 「尊重」の心を築こう(まなびをプラス) ★ いじめ問題/共生	ガーナでチョコレート作りを体験したいと希望する山口さんの姿を通して、他国の人々と共に生きていくのに大切なことは何かを考えさせ、他国を尊重し、国際的視野に立つて世界の発展に寄与しようという心構えを育てる。 自身の経験から、偏見について思うことを通して、差別や偏見のない社会をつくるために大切なことは何かを考えさせ、偏見に対して公平に接し、差別や偏見のない社会を実現しようとする判断力を育てる。 教科書に示された九つ問の問いをヒントに、「尊重」の本質について他者と話し合うことを通して、社会の中で他者とよく関わっていくことについて考えさせ、一人一人が尊重される社会をつくるための判断力を育てる。
1月	ユニット 8 自分と向き合うとは? ★ [A] (3) 向上心、個性の伸張 28 働きの光線 ★ 図書情報活用/いじめ問題/キャリア教育/健康教育 ★ [A] (6) 真摯な探究、創造 29 スカイツリーにかけた夢 ★ 社会科/数学科/図書情報活用/キャリア教育/伝統文化教育 ★ [D] (22) よりよく生きる喜び 30 働く仲間に入りたい ★ 社会科/キャリア教育/福祉に関する教育	夢の夢が見え、自信を失っている生徒の心を描いた物語を通して、自分のよきを見つめさせ、向上心をもたせ、個性を伸ばしていくこととする心構えを育てる。 東京スカイツリーの設計士の、物事を追究する姿を通して、新しいものを生み出していくときに大切なことは何かについて考えさせ、真摯な探究し、新しいものを生み出そうとする心構えを育てる。 分業ロボット「On-arms」を開発した吉田太助さんについて書かれた文章から、自分の強さや向き合い生きていくことについて考えさせ、弱さを乗り越え、よりよく生きていくこととする心構えを育てる。
2月	ユニット 9 よりよい生き方を築くためには? ★ [D] (21) 感動、感動の心 31 宇宙の始まりに思いを馳せて ★ 理科/図書情報活用/キャリア教育 ★ [C] (14) 家族愛、家庭生活の充実 32 異なり記念日 ★ 芸術・音楽科/図書情報活用/福祉に関する教育 ★ [A] (1) 自主、自律、自由と責任 33 二冊目の扉 ★ 芸術・音楽科/図書情報活用/いじめ問題/情報モラル ★ [D] (19) 生命の尊厳 34 泣き止むてはいけぬ ★ 図書情報活用	天文学者の大内正巳さんが、新しい天体を発見したときの思いや、宇宙との出会いについて述べた文章を通して、「感動する心」を見つめさせ、人間の力を越えるものに対する感動や畏敬の念を大切にしようとする心構えを育てる。 「異なり記念日」に込めた筆者の家族に対する思いを通して、家族のつながりとどんなものかについて考えさせ、家族の在り方を見つめ、よりよい家族関係を築いていくという心構えを育てる。 金のライオンが歴史的に仕組んだら、ただ受け入れられてしまった動物たちの物語を通して、何かを判断するとはどんなことを大切にすればよいかについて考えさせ、自分の行動を自分の意志で考え、その結果に責任をもととする判断力を育てる。 亡くなった祖父から届いたメッセージを通して、「生きる」ということについて考えさせ、自分の命の大切さを自覚し、かけがえのない生命を尊重しようとする心構えを育てる。
3月	ユニット 10 内容項目を決定しない 35 一学期の学びを振り返ろう ★ 伝統文化教育	これまで学んだ「まなびの記憶」や花火師の柏井の字子さんのルールから、1年間の道徳を学んだことを振り返り、これからの自分の生き方について考えさせ、学んだことを生かしていくこととする実践意欲と態度を育てる。
4月	付録 [B] (6) 友誼、信頼 加えた学習に ★ 図書情報活用/いじめ問題 付録 [C] (10) 道徳精神、公徳心 贈の中の光 ★ 法教育	読書に込められた思いを描いた物語を通して、「本当の友誼」とはどのようなものか考えさせ、他者と友誼、信頼を築いていくこととする実践意欲と態度を育てる。 小笠原での道徳の物語を通して、自らの考え方の変化や成長を確かめ、自己肯定感を育てる。 読書の芸術作品を参考に自分の作品を描いたことに後向きな態度を醸成している生徒の物語を通して、法やまもりを守る心の道について考えさせ、規則を守って行動しようとする実践意欲と態度を育てる。

**川崎市立枳形中学校  
令和7年度特別活動全体計画**

※全体計画例  
◆学校教育目標 ◆特別活動の重点目標 ◆学校行事  
◆各種委員会 ◆学級活動 (1)(2)(3) 年間時数 等

◇教育基本法  
◇学校教育法  
◇学習指導要領  
◇かわさき教育プラン

**学校教育目標**  
新しい時代を創造するための教養を身につけさせ、心身ともに健全で調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。  
(知)：①学力を高め、自ら考え正しい判断ができる人  
(情)：②美しい豊かな心を持ち、思いやりが助け合える人  
(意)：③責任を重んじ、実行力のある人  
(体)：④体力を高め、健康で自分を大切にすること

○生徒の実態  
○地域の実態  
○保護者の願い  
○教師の願い

**枳形中学校としてのキャリア在り方生き方教育**

各教科	道徳科	総合的な学習の時間	特別活動	共生＊共有	生徒指導	その他教育活動
<p><b>第1目標</b> 集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。 (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。</p>						

**特別活動の重点目標**  
**気づき・考え・行動できる生徒を育成する。**

**学級活動**

**目標**  
学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を積極的に意思決定して実践しつづけることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

**内容**  
(1)学級や学校における生活づくりへの参画  
ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決  
イ 学級内の組織づくりや役割の自覚  
ウ 学校における多様な集団の生活の向上  
(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全  
ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成  
イ 男女相互の理解と協力  
ウ 思春期の不安や悩みへの解決、性的な発達への対応  
エ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成  
オ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成  
(3)一人一人のキャリア形成と自己実現  
ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等への利用  
イ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成  
ウ 主体的な進路の選択と将来設計

**活動の形態例**  
話し合い活動 係活動 集会活動

部活動  
部活動  
部活動

**生徒会活動**

**目標**  
異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

**内容**  
(1)生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営  
生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見だし解決するために話し合い、合意形成を図り実践すること。  
(2)学校行事への協力  
学校行事の特質に応じて、生徒会の組織を活用して、計画の一部を担当したり、運営に主体的に協力したりすること。  
(3)ボランティア活動などの社会参画  
地域や社会の課題を見だし、具体的な対策を考え、実践し、地域や社会に参画できるようにすること。

**生徒会の組織例**  
◇生徒総会 ◇生徒評議会 (中央委員会等)  
◇生徒会役員会 (生徒会執行部) ◇各種委員会

◆各種委員会は、毎月定例会を実施する。  
以下の委員会を設置し、各学級2名の代表で構成する。  
学級・広報・図書・省エネ環境  
生活・福祉・保健・視聴覚・給食  
◆評議会(代表委員会)は、毎月定例会を実施する。

**学校行事**

**目標**  
全校又は学年の生徒で協力し、より良い学校生活を築くための体系的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

**内容**  
(1)儀式的行事  
入学式 始業式 終業式 修了式 卒業式 着任式 離任式等  
(2)文化的行事  
文化祭 合唱コンクール 学習発表会 合唱祭等  
(3)健康安全・体育的行事  
健康診断 薬物乱用防止指導 命の授業  
避難訓練 防災訓練 体育祭 球技大会等  
(4)旅行・集団宿泊的行事  
自然教室 東京校外学習 修学旅行等  
(5)勤労生産・専任的行事  
職場体験活動 全校美化の行事 福祉体験活動  
一人ひとりのボランティア等  
◆各行事のねらいを明確にし、全職員が協力して指導、助言する。

学年	1	2	3
(1)学級や学校における生活づくりへの参画	27	26	27
(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全	6	7	5
(3)一人一人のキャリア形成と自己実現	2	2	3

◆学級活動は年間35単位時間を充てる。(月曜1校時)

## 2 学年 特別活動年間活動計画

<b>4 月目標</b>					
(1) 学級における自己の役割を正しく認識し責任と意欲をもつ。 (2) 健康で安全な生活態度を考え、自己の能力、適切などを理解し、それを伸ばそうと努めている。 (3) JRC加盟式等を通して、ボランティア活動の意義を理解し、自発的な参加意欲をもてる。					
月	特別活動に関わる学校行事	日付	学級活動内容	日付	学級活動内容
4	始業式・入学式・対面式	4/7	担任自己紹介・学級経営目標など		
	生徒会オリエンテーション	4/8	前期学級組織作り①		
	学級組織作り	4/8	前期学級組織作り②		
	JRC加盟式	4/10	前期学級組織作り③		
		4/15	給食事前指導		
<b>5 月目標</b>					
(1) 体育祭の練習に積極的に参加し、学級における自己の役割を認識し責任を果たしている。					
5	梨丘祭 体育祭練習開始	5/12	体育祭選手決め		
	梨丘祭 体育祭	5/17	体育祭反省・帰り学活		
<b>6 月目標</b>					
(1) 学級の当面する諸問題の解決に意欲的に取り組んでいる。 (2) テストの反省を通して、日頃の学習活動を見直し、計画的に取り組む。					
6	前期中間テスト	6/6	校外学習 係決め		
	生徒総会	6/16	校外学習 係別会議		
	校外学習	6/20	校外学習 学年反省会		
	県総体壮行会				
<b>7、8 月目標</b>					
(1) 前期前半の反省を通して、学級や学校生活の充実や向上を図るため積極的に貢献する (2) 健康で安全な生活態度を考え、自ら身につけようと努める。 (3) 一人ひとりのボランティアにむけて自分の希望を確認し、進んで活動しようとする意志を養い、育てる。					
7	県総体ブロック大会	7/7	合唱コン選曲		
8	夏休み	7/18	学年集会		
		7/18	夏休みに向けて		
<b>9 月目標</b>					
(1) 梨丘祭のもつ意義やねらいを理解し、意欲的に参加する。 (2) エネルギー環境教育講演会への参加を通して、自発的な行動に移すことができる。					
9	市総体	9/1	提出物・宿題回収 学級裁量①		
	前期期末テスト	9/22	学級裁量②		
	生徒会役員選挙	9/29	学級裁量③		
	金融・経済学習				
<b>10 月目標</b>					
(1) 前期の反省を通して、規則正しい生活を送り、健康で安全な生活態度を養う。 (2) 合唱コンクールの中で男女の相違を正しく認識し、男女相互の理解と協力を努めている。 (3) 半年の学級活動を振り返り、改めて有意義なクラス活動の運営を考える。					
10	市総体	10/6	後期学級組織作り①		
	梨丘祭 文化祭	10/7	後期学級組織作り②		
	梨丘祭 合唱コンクール	10/7	後期学級組織作り③		
	駅伝壮行会	10/23	梨丘祭の振り返り・反省		
<b>11 月目標</b>					
(1) 梨丘祭反省を通して今後の学級の当面する諸問題の解決や学校行事に取り組む。 (2) ワークショップを通して、エネルギー環境教育についての意識を深める。					
11	環境ワークショップ	11/14	学年裁量②	11/20	環境学習パネル作成
	環境フォーラム	11/17	お礼状・環境学習パネル作成		
	後期中間テスト	11/27			
<b>12 月目標</b>					
(1) 仲間と協力し、環境整備の充実や向上を図るために意欲的に取り組んでいる。 (2) 環境フォーラムを通して、1年間学んできたエネルギー環境教育を自分なりにまとめることができる。					
12	小学生中学校体験	12/18	学年裁量⑤	12/24	学年集会
				12/24	冬休み前学活
<b>1 月目標</b>					
(1) 自己実現にむけて進路、学習に目を向け、意欲を持って取り組んでいる。					
1		1/19	学級裁量①		
<b>2 月目標</b>					
(1) 自己の能力、適正などを理解し、それを伸ばそうと努めている。 (2) 学年・学級で協力して自然教室に取り組み、その中で学年・クラスの協力体制を育て、よい思い出をつくらせる。					
2	後期期末テスト	2/12	後期期末テスト	2/25	三送会に向けて②
		2/16	三送会に向けて① 三送会準備	2/27	三送会に向けて③
		2/19	議案書検討		
<b>3 月目標</b>					
(1) 一年間の反省を行い、卒業後に向けての心構え、準備をする。					
3	生徒総会	3/5	三送会リハーサル		
	三送会	3/6	三送会事前準備		
	卒業式	3/11	一年間を振り返って		
	球技大会・百人一首	3/23	学年集会		
	終了式・離任式	3/25	クラス最後の学活		

# 川崎市立柘形中学校 総合的な学習の時間構造

## 第1の目標（学習指導要領）

- ① 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。 **【知識及び技能】**
- ② 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 **【思考力・判断力・表現力等】**
- ③ 探究的な学習に主体的・協動的に取り組むとともに、お互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。 **【学びに向かう力・人間性等】**

踏まえて

## 柘形中学校 学校教育目標

- ① 学力を高め自ら考え正しい判断ができる人
- ② 美しい豊かな心を持ち思いやりがあり助け合える人
- ③ 責任を重んじ実行力のある人
- ④ 体力を高め健康で自分を大切にできる人

踏まえて

## 柘形中学校 総合的な学習の時間の目標

「気づき・考え・行動する」を主題として、課題解決の能力を養い「生きる力」を育み、【環境】・【福祉】  
【健康】・【キャリア】（学年行事）等についての様々な活動を通して、以下の資質・能力を育成する。

- 気づく** 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、よさや工夫に気づき、人々の努力によって支えられていることに気づく。
- 考える** 探究的な学習を通じ、問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、自らが持っている情報をもとに考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことをまとめ・表現する力を身に付ける。
- 行動する** 探究的な学習に主体的・協動的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。

## 全体テーマ

「見つけよう私のSDGs（My SDGs）～気づき・考え・行動できる私を育てよう～」

探究課題		具体的な資質・能力		
キャリア 有り 方 生 き 方 教 育	キャリア学習 他	<b>知識及び技能</b> 他教科及び総合的な探究の時間で習得する知識及び技術が相互に関連付けられ、社会の中で生きて働くものとして形成されるようにする。	<b>思考力・判断力 表現力等</b> 探究の過程において発揮され、未知の状態において活用できるものとして身に付けられるようにする。	<b>学びに向かう力 人間性等</b> 自分自身に関すること及び他者や社会との関わりに関することの両方の視点を踏まえる。
	環境学習			
	福祉学習			

活用する

## 教科等を越えた全ての学習の基盤となる資質・能力

情報活用能力	言語能力	
探究的な学習の過程においてコンピューターや情報通信ネットワークなど適切かつ効果的に活用して情報を収集・整理・発信するなどの学習活動  (情報や情報手段を主体的に選択し、活用できるように配慮する)	①他者と協働して課題を解決しようとする学習活動	②言語により分析し、まとめたり表現したりする学習活動
<b>活用する</b> <b>考えるための技法</b> 多面的、多角的に見る・具体化する・抽象化する・構造化する 順序付ける・比較する・分類する・関連付ける・理由付ける 等		

【学習活動】	【指導方法】	【指導体制】	【学習の評価】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や生徒の実態を踏まえ、探究課題を設定する。</li> <li>・地域の人・もの・ことを生かした学習活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動を重視する。</li> <li>・各教科等との関連を重視した指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校指導体制の組織強化を図る。</li> <li>・学校図書館やパソコン室の利用 タブレットPCの活用を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観点別学習状況を把握するための評価規準、評価方法を確立させる。</li> <li>・個人内評価を重視する。</li> </ul>